

光村図書は、 「現代的な課題」を どう扱ってるの？

——持続可能な開発目標(SDGs)を巡って——



環境、人権、平和など、現代社会は
答えが一つではない問題であふれています。
光村図書では、子どもたちの発達の段階に合わせ、
6年間をかけて持続可能な開発目標(SDGs)の、
全17の目標に触れる機会を設けました。



SDGsを自分のこととして考える

子どもたち一人一人が、SDGsを自分にも関わりのある問題だと
意識できるよう、発達の段階に合わせた、身近な話題を選びました。



6年間の学びをつなげて考える

最高学年である6年生では、現代的な課題について、
これまで学んできたことを関連づけながら考えられるような
内容を取り上げました。



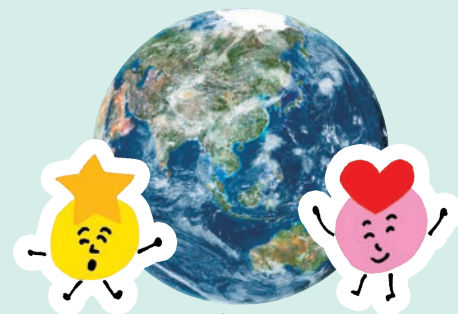
1 SDGsを自分のこととして考える

SDGsを自分に引きつけて考えられるように、児童の発達の段階に寄り添った話題を取り上げました。6年間で、SDGsに示されている17の目標全てに触れられるように配慮しています。



5年「13 自分の身は自分で守る」p.72-76

避難訓練について描かれている教材や、日本各地の防災活動を取り上げた付録から、防災を意識し、「住み続けられるまちづくり」について考えることができます。



写真：アフロ



5年「コラム 『地球温暖化』を知らう」p.68-69



さまざまな事例を通して、かけがえのない自然を守ることに、自分たちの生活と結び付けて考えます。



4年「11 いのちをつなぐ岬」p.56-60



5年「付録 日本各地で取り組む『防災活動』」p.190-191



写真：アフロ



5年「コラム 子どもの権利条約」p.146-147



日本各地の昔から伝わる道具を通して、産業やそれを支える技術などについても考えられます。



3年「ふろく 日本につたわる『くらしの道具』」p.174-175

マザー=テレサの生き方を通して、全ての人が人間らしく生きていくことについて考えを深めます。



6年「23 マザー=テレサ」p.138-141



子どもの権利について考えることから、さまざまな現代的課題に迫ることができます。



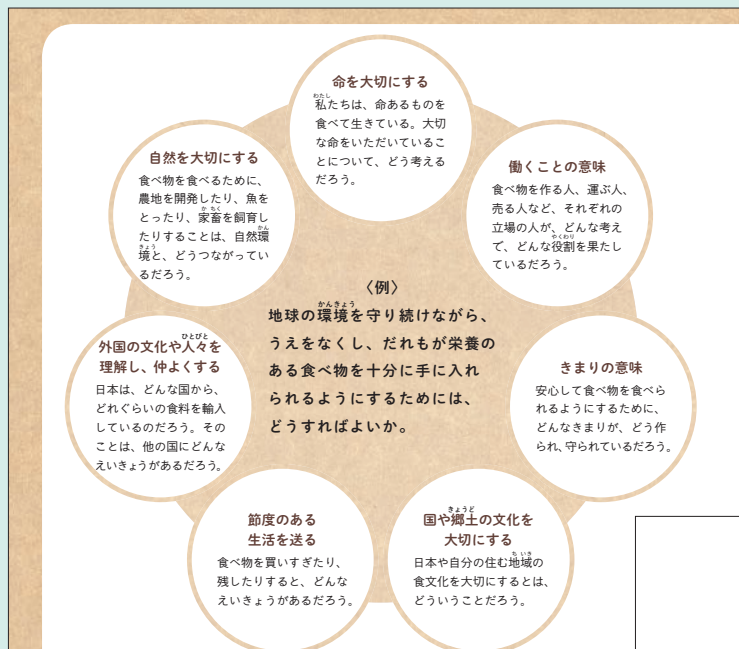
2 6年間の学びをつなげて考える

現代的な課題は、さまざまな問題が複雑に絡み合っています。

小学校の最高学年である6年生では、「13 世界人権宣言から学ぼう」、

「コラム よりよい世界を目指して」など、現代的な課題を、

これまでの道徳の学びと関連づけながら考えられるようにしました。



6年「コラム よりよい世界を目指して」p.76-77

一つの課題について、複数の教材の内容をつなげて考えることで、現代的な課題とより深く向き合えるようにしました。

「地球上の『誰一人取り残さない』」ことを誓ったSDGsの17の目標。
「世界人権宣言」に触れ、全ての人々がもつ権利を大切にすることについて考えることができます。



6年「13 世界人権宣言から学ぼう」p.80-86

